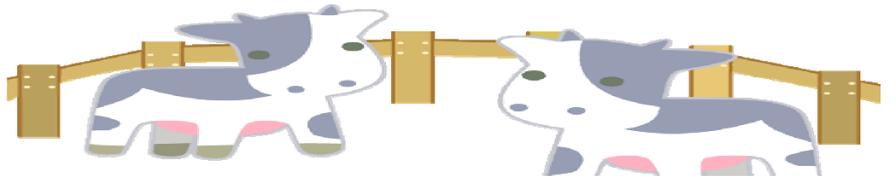


大島くるみ病院だより



明けましておめでとうございます。

麻生総理大臣によると、ミゾウユウの経済危機だそうです。そんな中で、社会的常識にかける医者がご挨拶を申し上げるのも恐縮ですが、新年明けましておめでとうございます。

大島くるみ病院は、皆様のご支持を得て昨年も順調に発展する事ができました。診断機器としては、老朽化した CT（コンピューター断層撮影機）を更新し、グリコヘモグロビン測定器を新規に導入しました。リハビリテーション室を改装し、新しい機能訓練にも対応いたしました。また、デイケア利用者定員が 40 名に拡大認可され、増え続ける利用希望に対応しています。

運営面でも、医療安全・院内感染防止・褥創対策・拘束防止・栄養評価・看護学習・介護学習・接遇・院内研究発表などの各種委員会、会議、勉強会の活動が活発に行われ、病院全体の運営システム・職員個々の専門知識・技術の向上は目覚ましいものがあります。また、医療機関としての社会的・行政的要求の変化にも対応して、診療内容も驚くほど高度化してきました。

今後も大島くるみ病院が発展を続けるためには、病院の社会的使命・義務をきちんと果たし、病院の運営システムと個々の職員のレベルを向上することで、施設利用者、入院患者、外来受診者の皆様の支持を得る以外の道はありません。職員一同心を合わせて努力いたします。本年も宜しくお願い申し上げます。

大島くるみ病院 院長 長堀毅

介護ミニ知識

今月は食事介助の方法をご紹介します。食事介助には 3 つのポイントがあります。それは…

- ① 食事環境の整備
- ② 介護者のポジション
- ③ 箸やスプーンの扱い方



…とされています。このポイントを細かく説明したいと思います。

まず、①の**食事環境の整備**です。食堂など、食事をする部屋の環境を整えます。トイレへの誘導など排泄も済ませておきます。介助に必要な道具や服薬の準備も事前にしておきます。そして、食事しやすい姿勢を確保してもらいます。つまり、要介護者がゆっくり落ち着いて食事出来るようにするのです。

次に、②の**介護者のポジション**です。立った状態で介助すると、食べ物が高い位置から来るため、前かがみになれず飲み込みがうまくいかない場合があります。また、向き合って介助を行うと要介護者に監視されているような圧迫感を与えてしまいます。よって、横に並んで、同じ目線からの食事介助がもっとも理想的です。

最後に、③の**箸やスプーンの扱い方**です。箸やスプーンは要介護者の口に対して下方向から持ってくるのが良いでしょう。誤嚥の予防になります。逆に、上方向から食べ物を持ってくると、要介護者が上を向かざるを得ず、むせの原因になります。

食事介助は、要介護者が前かがみの姿勢で食べることが基本です。誤嚥性肺炎などを予防するためにも正しい食事介助の方法を知っておくことは重要です。また、食事の前に水分を摂取することを忘れないようにしましょう。

クリスマス会

日時：平成 20 年 12 月 7 日（日） 13：45～

場所：北 2 階ホール

Merry Christmas



<プログラム>

- ① 院長のあいさつ
- ② 劇ごっこ（集まれ！一緒に遊びましょ☆）
—森のこびと保育室—
- ③ 体操 —みなさんで—
- ④ メゾ・ソプラノ独唱
—武部 薫さん—
- ⑤ みなさんと歌いましょう（ふるさと）
—みなさんで—

楽しいクリスマスだったね！



ケアプラン発表会

12月24・25日の2日間にケアプランの発表会が開かれました。病棟ごとにより良いケアを目指し学習してきたことを発表する場です。実際の事例を使った発表会で、発表者、傍聴者のお互いにとって有意義なものとなりました。

南2階：ICF理論より療養型介護施設での参加・人生レベルを考える

南3階：QOL（quality of life：生活の質）向上のケア

北2階：初めてケアマネジメント業務に携わって

北3階：在宅生活に向けて

感染安全対策研修会

12月10・11日の2日間、院内にて職員に向けた院内感染・医薬品管理・安全対策それぞれのテーマについて研修会が開かれました。

これからインフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症が流行する季節になります。利用者様、職員ともに体調を崩さぬよう注意していきたいと思っております。



お知らせ

・今年もインフルエンザなどが猛威を振るう時期となりました。当院でも感染症予防を心がけて行きますが、院内感染を防ぐためにも体調のすぐれない方のお見舞いはご遠慮下さいませようお願い致します。

♪編集後記♪ 昨年の暮れ射水市出身の落語家・立川志の輔さんの独演会に行ってきました。富山弁を交えた話に大笑いしました。それ以来落語にはまってしまいお正月も落語三昧でした。笑いは健康にいいということで、みなさまも是非聞いてみてください。

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

職員は常に自己研鑽に励み、医療・介護の質の向上に努力します。 平成 18 年 4 月 1 日改定

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。